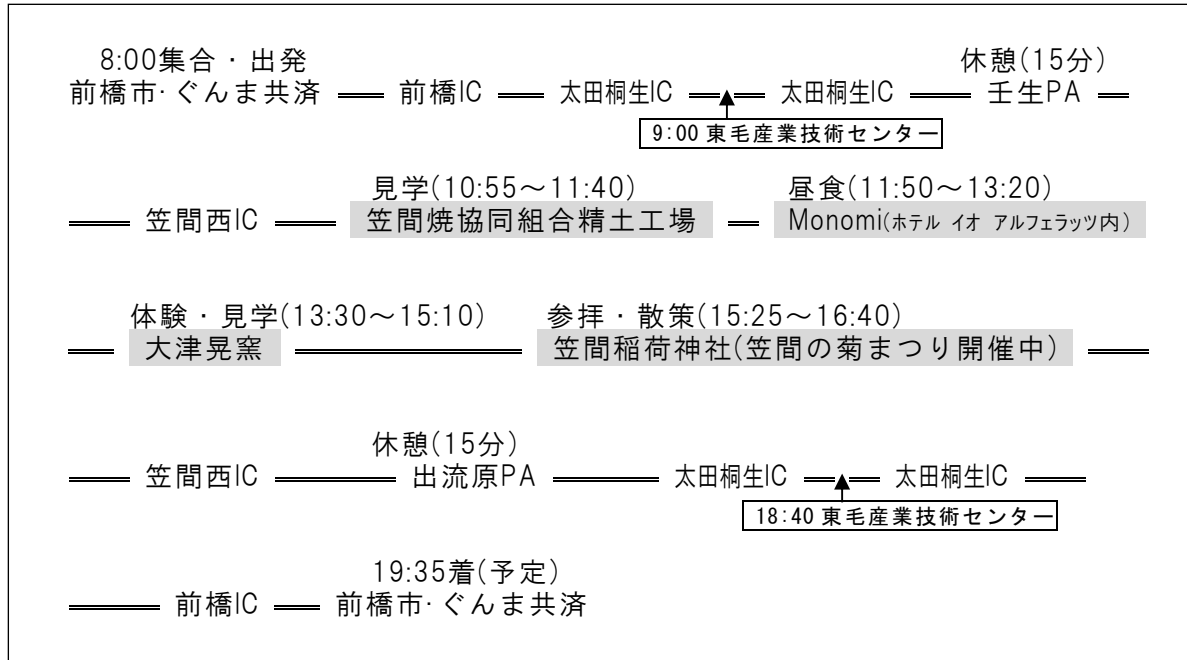


女子職員研修会 日程

11月8日(水) ぐんま共済駐車場：午前8時集合/出発

東毛産業技術センタ-駐車場：午前 9 時予定



女子職員研修会 参加申込書

平成 29 年 月 日

群馬県中小企業団体中央会（振興課） 宛

FAX 027-234-2266

組合名

平成 29 年 11 月 8 日(水)開催の女子職員研修会に、下記のとおり参加します。

No.	(ふ り が な 氏 名)	自 宅 住 所	自 宅 T E L	年 齢	集合場所 いずれかに○
			携 帯 T E L		
1	()				ぐんま共済
					東毛センター
2	()				ぐんま共済
					東毛センター
3	()				ぐんま共済
					東毛センター

※ ご記入いただいた個人情報は、当視察研修の実施のために使用するもので、他の目的に使用することはありません。また、事業終了後は速やかに破棄致します。

視 察 先 概 要

◆笠間焼協同組合 精土工場（茨城県笠間市笠間 2481-5）

笠間焼協同組合は、笠間市周辺を産地とし「伝統工芸品」の指定を受けている笠間焼の発展と振興のため、後継者の育成をはじめ各種研修会や原材料の共同購入、受注業務などを行っている。1996 年に完成した精土工場では、掘り出した粘土から砂利やごみを取り除き、真空土練機で均一な堅さに練り上げ、更に気泡を取り除く作業を 2～3 回繰り返し行い、陶芸家が扱いやすいような粘土を作っている。この作業には、形成途中や焼いた後に穴が開いたり割れたりするのを防ぐ効果があり、組合員の他一般にも粘土を販売している。

笠間焼協同組合が主催する事業に、5 月の連休に実施され茨城県下で最も賑わいのあるイベントとして広く知られる「陶炎祭（ひまつり）」と秋に開催される「笠間焼フェア」がある。

◆大津晃窯（おおつこうよう）（茨城県笠間市手越 68）

150 年以上の歴史を誇る「大津晃窯」は、笠間焼の伝統を守りながらも、時代の流れに合わせ老若男女に愛される陶器を制作・販売している。工芸でも雑器でも区別せず、使う人の気持ちになって作っているという気持ちがあふれているお店。広い敷地には体験工房や大型バスを止められる駐車場も完備しており、ろくろ・手びねり・絵付けの体験が可能。

陶芸体験では、電動ろくろを利用し器を作成。7 色の釉（うわぐすり）から 1 色を選び、1～2 か月後に焼き上げられた作品が届く。

四代目で伝統工芸士の大津廣司氏は、笠間焼協同組合の現理事長。

◆笠間稲荷神社（茨城県笠間市笠間 1）

1360 年以上の歴史がある笠間稲荷神社は、日本三大稲荷のひとつに数えられ、全国各地から年間 350 万人の参拝客が訪れる。祀られている宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）は、正一位という最高の位をもち、一般に「お稲荷様」として親しまれている神様。昔からこの地には胡桃の密林があり、そこに神様がお祀りされていたことから「胡桃下稲荷」とも呼ばれ、また江戸時代の藩主の一族である門三郎が深い信仰心から多くの人々に功德を施したことにより「紋三郎稲荷」とも呼ばれている。

江戸時代の末期に建てられたという本殿は国の重要文化財に指定され、本殿の裏手には精細で見事な彫刻「蘭亭曲水の図」があり、東門の前には、君が代にも歌われた「さざれ石」が待ち構えている。また、境内にある二株の藤樹は 400 年にも及ぶもので、県の天然記念物に指定されている。境内は 10 月中旬から 11 月下旬に開かれる日本最古の菊の祭典「笠間の菊まつり」のメイン会場になっている。

神社の門前通りは 41 店舗からなる笠間稲荷門前通り商店街協同組合があり、「かさま狐の嫁入り」などのイベントが行われたり、土産店のほか笠間稲荷にちなんだ「おいなりさん」の老舗が軒を連ねている。

【昼食】

◆笠間森のレストラン Monomi（茨城県笠間市笠間 2517-1）

笠間市内が一望できる閑静な丘にあるホテル イオ アルフェラッツ内の店。四季折々の移り変わりと共に、地場の食材を生かした料理が楽しめ、おばんざいランチは笠間らしさが味わえる人気メニュー。